

2025 年 4 月 28 日

テレメンタリー2024「沈黙の搾取 見過ごされた障害者虐待」 第62回ギャラクシー賞 テレビ部門奨励賞受賞

4月28日(月)発表の第62回(2024年度)ギャラクシー賞で、HTB制作のテレメンタリー2024「沈黙の搾取 見過ごされた障害者虐待」がテレビ部門奨励賞を受賞しました。テレビ部門での奨励賞受賞は2020年度のテレメンタリー2020「介護崩壊～救えなかったクラスター～」以来となります。

ギャラクシー賞は、NPO法人放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するために1963年に創設し、放送批評懇談会会員から選ばれた選奨事業委員会が応募のあった作品および選奨事業委員会が推奨した作品(CM部門を除く)の中から、「テレビ部門」「ラジオ部門」「CM部門」「報道活動部門」の4部門について年に一度表彰しています。「報道活動部門」は、放送における報道活動のあり方を議論し、優れた活動に光をあてるとともに、地域の放送ジャーナリズムの活性化を支援していこうと2003年に設立されました。

今回受賞した作品は、北海道恵庭市の牧場に長年住み込みで働いていた知的障害者3人が、虐待を受けていたとして、牧場主と恵庭市を相手取り裁判を起こした問題を取材し、長い間虐待が見過ごされてきた背景を紐解くことで、いまだ根深い障害者差別について考えるドキュメンタリーです。この番組は、先にギャラクシー賞テレビ部門10月度月間賞と※2024メディア・アンビシャス大賞【映像部門】北海道賞も受賞しています。

須藤真之介ディレクターのコメント

「原告の1人である佐藤さん(仮名)は番組の放送後、支援者から応援する声をかけられ『より多くの人に自分の経験を知ってもらいたい』と、顔を出して活動するようになりました。裁判後の報告集会でも、牧場での経験を自らの言葉で語っています。最近では、牧場による新たな不正受給の疑惑も浮上しています。この問題については、引き続き取材・報道をしていきます。」

広瀬久美子プロデューサーのコメント

「この問題を巡っては新たな疑惑も浮上していますが、牧場側の取材は限定的で、分からないことも数多くあります。今回の受賞を励みに、より多角的な取材を重ね、牧場での障害者虐待が長きにわたり見過ごされた理由、背景を探っていきたいと思います。」

※メディア・アンビシャス大賞

平和の追求、人権の保障、民主主義の実現等でジャーナリズムとして優れた報道、番組制作等を行ったメディアを積極的に応援することなどを目的とする札幌の市民団体「メディア・アンビシャス」が贈る賞です。

※プレスリリースに関するお問い合わせ

HTB 編成部 渡辺

TEL : 011-205-7666

メール : riwatanabe@htb.co.jp

(発行元) 社長室



HTB 北海道テレビは2021年4月、国連のSDGメディア・コンパクトに加盟しました